

森けんじ市議会レポート

きらら通信 vol.7

平成29年1月



寒中お見舞い申し上げます。

平成28年第4回定例議会が終了しました。今議会の注目すべき議案等は、一般会計補正予算(台風9号による被災農業者への支援、公園遊具の更新・改修、災害対策事業、デジタル博物館の整備等)、病院事業特別軽々補正予算、そして津波避難タワーに関する諸議案、などがあげられます。

「政務活動費」が巷で色々と話に上ります。大網白里市議会では年間49800円、月額4150円を上限に支給されます。金額の是非はともかく、支給方法が年度初めの一括支給となっていました。使道も決まらぬ内からの費用支給はおかしい。森は議会改革推進協議会の席で、民間企業ならつて「領収証添付の事後精算払い」を提案、おかげ様で全会一致で採決されました。今まで「当たり前」とされて来た事でも、民間人の目で見ると「あれ？」と思う事が以外にあります。今後も住民の目線で、細かい事も、言うべきは言わせていただく所存です。

今回も引き続き、一般質問を行いました。

- 津波避難タワーについて
 - 大網駅南地区市街地整備について
 - 子育て支援について
 - 住民自治組織(自治会等)との連携について
- 詳しくは、裏面や議会だよりを「ご覧ください」。
- 市議会ホームページからは動画も見られます。

大網小隣の「みどりが丘市有地」につき、市及び委託を受けた東洋大学、自治会と連携し「みどりが丘市有地活用基本計画策定業務」なる事業を進めています。子育て支援施設、産院、小児科、商業施設を誘致する見込です。引き続き市民の皆様の意見を伺い、周辺の開発と合せて努力して参ります。

お陰様で私が議員とさせて頂き1年が経ちました。今後とも驕らず、勉強を怠らず、精進して参ります。

森 けんじ

☆「第5回市政報告会」を開催します。

日時：平成29年2月11日(土・祝)、午前10:00～

場所：みどりが丘自治会館

※どなたでもご参加いただけます。

森けんじのプロフィール

- 昭和40年5月29日生まれ、51歳。妻、一男一女の4人家族。
- 東洋大学法学部法律学科卒業。
- 民間企業に25年間勤務(近畿日本ツーリスト株式会社)、在職中より千葉YEG、PTA、自治会、震災復興ボランティア、きらら青空カフェ等の地域活動を展開。
- 平成27年11月の大網白里市議会一般選挙にて初当選。総務常任委員会委員、議会改革推進協議会、議会だより編集副委員長。
- 現在は、みどりが丘自治会市有地有効利用検討専門部会長、きらら青空カフェ実行委員長、社協大網支部理事、ぐるっと大網30kmウォーク実行委員、県立千葉東高校PTA等にて活動中です。

森けんじとまちづくりを考える会(千葉県政治団体No.388070)

大網白里市みどりが丘3-11-2

電話とファックス：0475-51-1478

ホームページ：<http://www.morikenji.net/>
 (「森けんじ」で検索ください)



所属委員会は、総務常任委員会になりました。その他、議会だより編集副委員長、議会改革推進協議会委員、等で活動しています。

12月、平成28年第4回定例議会での一般質問の内容(要約)

私が議員とさせて頂き1年が経ちます。勉強を怠らず努力を忘れず、故郷の発展のために努力して参ります。

先日、JR千葉駅の新駅舎が開業しました。千葉市の事業であります千葉駅西口地区の再開発が同時に行われ、民間のノウハウを活用したまちづくりが進められています。我々が、大網駅周辺は、平均乗降者人員数が千葉駅の10分の1。本来であれば千葉駅の10分の1の「賑わい」があってもおかしくありません。大網駅が我が街の玄関口として更なる発展の起点になるよう、私たちの子供達のためにも頑張りましょう。

○大網駅南地区市街地整備について

問、大網駅の南地区は、昭和58年の都市計画の施行以来、市街化整備の必要性が言われながら事業化には至っていない。送迎車の慢性的な渋滞は大きな危険を呼び込む。今後の市の発展を考えれば喫緊の課題。先日、大網駅南地区市街地整備の基本構想が示されたが、現状の把握は。現在の駅前広場におけるタクシー/バス/一般車の乗降場所面積の比率、そして実際の乗降車数の比率について。

答、駅前広場のバス、タクシーの乗降所及びプール、そして一般車両の乗降場所のスペースを区画数で言うと、バスは待機所として6台。タクシーは乗降所が2台、そして待機所が15台。一般車両は乗降所のみとなっており、概ね4台から6台ほどのスペースと考えます。続いて進入する車両台数は、平日でバスが203台で約6.3%、タクシーが201台で6.2%、乗用車が2,721台で83.9%、他の車両が117台で3.6%。乗用車がかかり多い状況ですので、そこを加味して全体的なレイアウトの見直しを大網駅周辺整備検討委員会で検討して頂きたいと考えます。

問、色んな立場の方の意見を聞くべきです。これから長い年月がかかると思われますが、最終的に、いいものができるように。

○子育て支援について

問、「ネウボラ(相談)子育て支援」が注目されている。元はフィンランドの「妊娠期からの切れ目ない」ワンストップの子育て支援の事であり、国内でも、埼玉県のとくまろ市や東京都の世田谷区、札幌の千歳市、県内では浦安市が、「日本版ネウボラ」として注目されています。現在の大網白里市の子育て支援は、来春から新たに2つの民間保育園が認可化予定であり、その補助もうまく行っており、市の保育所と併せ、官民一体となっていていい方向に進んでいる。これは市の担当者の素晴らしい成果です。現在みどりが丘市有地に子育て支援施設の開設が考えられているが、この施設の概要について。

答、現時点では施設の機能の詳細は未確定です。想定機能は、乳幼児のいる親子を対象とした子育て支援機能として、遊戯室や相談室、談話コーナーなど。また児童を対象とした施設としては、学童保育室及び放課後子ども教室について検討しており、本年度に策定する基本計画の中で精査します。策定に当たって東洋大学の支援を受けており、今後は出産・子育て・買い物などの環境がコンパクトに集約された魅力ある生活空間を形成できる様、整備計画の策定を進めます。

問、地域住民の意見もぜひ良く聞きながら、最終的には市内はもとより、他市、他県にも誇れるような施設が、この大網白里市にできますよう、一人でも多くの子育て世代の方々に、本市に住んでいただけるよう努めて参りましょう。

※他に、津波避難タワー、住民自治組織(自治会や区)との連携について質問しました。



工事が進む津波避難タワー
(四木木、赤城神社隣)1月17日撮影

☆津波避難タワーについて

3月までに完成予定の、津波避難タワー。完成後の有効利用を目指して、工事の進捗、市民や観光客に対する情報発信、そして今後予定される「築山(避難のための高台)」について、確認と提言を行いました。

☆大網駅南地区市街地整備について

現状、駐車場ばかりの大網駅南口の今後の開発について、現在の駅前広場(ロータリー)の一般車、タクシー、バスの比率と駐車場の比率について、問題を問うとともに、駅前開発の必要性を確認、今後の提言を行いました。

☆子育て支援について

フィンランドの「ネウボラ(相談)子育て支援」を例に挙げ、妊娠期から子育てまで「切れ目のない子育て支援」を提案。市の現在の子育て支援の問題を確認、今後の支援行政に向けた確認を行いました。

☆住民自治組織との連携について

自治会・区の数、加入率を確認。広報、支援状況を問いただすとともに、現在の連携状況、個人情報の取り扱いなどについて質問しました。

※議案は、一般会計補正予算、土地取得事業特別会計補正予算(津波タワー周辺)、病院事業会計補正予算、市税条例の一部を改正する条例の制定について、都市公園を設置すべき区域を定めることについて(津波避難タワー)、などの議案が話し合われ、可決されました。また、政務活動費の領収証公開などの陳情も出され可決しました。詳しくは「議会だより」をご覧ください。



11月、みどりが丘市有地について自治会・市担当と懇談

10月「きららまつり」今年も無事に終了

11月、社協理事として「大網歴史さんぽ」を開催

みどりが丘5年振りの「どんど焼き」

※次回の大網白里市議会は・・・

平成29年第1回定例議会は、平成29年2月20日(月)～3月21日(火)まで開催予定です。ぜひ傍聴にお越しください。(一般質問は2/22(水)～27(月)を予定。詳しいスケジュールは、市議会ホームページ等でご確認ください)

平成29年1月(第7号)

発行人：森 けんじ

299-3255 大網白里市みどりが丘3-11-2

電話とファックス：0475-51-1478

<http://www.morikenji.net/> (メールもHPからどうぞ)